



農作業一口メモ

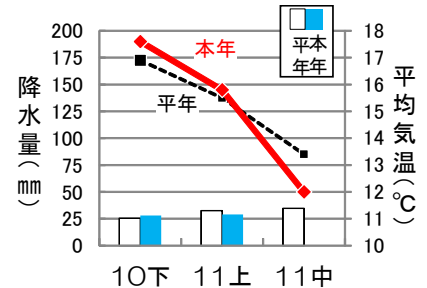
(平成26年12月号)

鳴門藍住農業支援センター
鳴門藍住地区農業生活指導班会

藍住町・板野町・上板町の農作業メモ

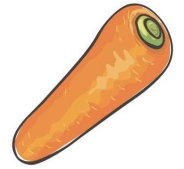
気象 <四国地方1ヵ月予報(11月22日~12月21日)>

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
この期間の平均気温は、平年に比べて高い可能性が高く、降水量は、平年並または多い可能性が高いでしょう。
日照時間は、平年並または少ない可能性が高いでしょう。
(平成26年11月20日高松地方気象台発表より抜粋)



にんじん <生育初期の管理について>

- 適期換気に努めましょう。被覆内気温は、土寄せ時期の本葉5~6枚まではやや高温の30°Cを目安とし、初期の生育を促しましょう。その後は、28°C以上にならないように外気が高温になるにしたがって換気孔をふやします(目安は23~25°C)。
- 生育初期の乾燥に注意しましょう。
- 本葉3~4枚頃までに7~9cm間隔に間引きしましょう。
- 本葉5~6枚頃に芯葉が埋まらない程度に充分土寄せし、青首を防ぎましょう。



ブロッコリー・カリフラワー・キャベツ <定植後の管理について>

- ブロッコリー・カリフラワーの追肥は、2~4回に分けて施し、花蕾が500円玉くらいの大きさになったら、それ以降の追肥をやめましょう。
- カリフラワーは花蕾の上に外葉を2~3枚折り込み日よけにしましょう。日よけをしないと日が当たったところは黄色くなります。
- キャベツは定植1ヵ月後の1回目の追肥に続いて、2回目の追肥を行いましょう。追肥時期の目安は、通路が外葉でふさがれ、結球が開始される前です。
- また、病害虫の発生が少ない時期ですが、予防として殺菌・殺虫剤の散布を行っておきましょう。



レタス <定植後の栽培管理について>

- 霜害対策
12月どりでは、凍霜害を受けることがあるので、保温と防霜を兼ねて不織布をべたがけしましょう。
- トンネル管理
被覆が遅れると生育が悪くなるので、週間天気予報などを参考に早めの資材や作業の準備を行いましょう。トンネル被覆は寒害防止と結球促進のため12月上旬(平均気温10°C)頃を目安に行いましょう。また、トンネル内の温度管理は日中25°C以上にならないように管理します。
- 収穫
8分結球すれば外葉2~3枚をつけて収穫しましょう。



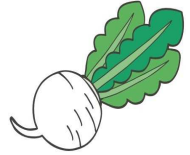
たまねぎ <定植活着後に除草剤を散布しましょう>

- 定植活着後、初期の雑草防除のため除草剤を散布しましょう。
- 土壌処理除草剤を散布する際は、土壌が極端に乾燥していると効果が劣りますので、降雨後等に処理しましょう。土塊をなくし、処理後に処理層を壊さないため土を動かさないように注意しましょう。



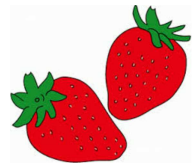
かぶ <収穫の注意点について>

- 夏・秋播きの収穫が始まっています。小かぶは6cm程度、中かぶは12cm程度で順次収穫しましょう。
- 12月に入ると、早朝に葉が凍ることがあります。収穫は、茎葉の氷が溶ける朝9時以降夕方に行い、茎葉に傷がつかないように注意しましょう。



いちご <12月の管理について>

- 電照、保温（加温）も始まり、収穫時期となりました。収穫期間中は、草丈が25cm程度になるよう電照条件の調整、温度管理（昼間22～25℃、夜間5～6℃を目安）、水分管理等に注意しましょう。
- 草勢が旺盛になりすぎた場合、地下部とのバランスが崩れ、株疲れの原因となります。また、生育期間全般にわたり、土壌水分の変化をできるだけ少なくし、冬場のかん水は午前中に行い、夕方までに地温を上昇させるように努めましょう。
- 収穫時は、果実の温度をできるだけ低い状態で維持し、品質保持に努めましょう。



落葉果樹 <休眠期の病害虫対策について>

- カイガラムシ類、ハダニ類等の越冬害虫対策として、機械油乳剤が有効です。今年大発生したニセナシサビダニにも効果的と思われます。
- 柿においては粗皮削りも防除効果が高く、粗皮削り後に機械油乳剤を散布すると非常に効果的です。
- 落葉、病果は翌年の病害の発生源となりますので、土中に埋没する等、できる限り処分しましょう。

トピックス <短葉性ねぎの生育状況と管理について>

8月のお盆明けに定植をしたほ場では、収穫近くになっています。11月中旬の目慣らし会で、掘ってみると、軟白部の太さは2～3cm程度と、短葉性ねぎ「ふゆわらべ」の特徴がしっかり現れていました。今後の栽培管理としては、軟白部の長さ確保のため、土寄せと追肥を収穫前にもう一度行うようにしましょう。



鳴門藍住農業支援センターのホームページでも掲載しています。

http://www.pref.tokushima.jp/shien/naruto_aizumi/

※提案・お問い合わせについては、鳴門藍住農業支援センターまで

電話番号：088-692-2515